

九州地方の火山活動解説資料 (平成 17 年 7 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあるか、観測データに変化があった火山
- ：解説を掲載した火山
- ：その他の火山

九重山 【静穏な状況 (火山活動度レベル 1)】
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山 【やや活発な状況 (火山活動度レベル 2)】
中岳第一火口では、25 日、27 日に火口底の一部で赤熱現象を観測するなど、熱的活動がやや活発でした。

湯だまり量は、降水により 6 日に約 4 割に増え

ましたが、その後は減少傾向で 22 日には約 3 割に減少しました。湯だまりの表面温度は 70 前後の高い状態が続いており、湯だまり内では小規模な土砂噴出が続いています。

雲仙岳 【静穏な状況 (火山活動度レベル 1)】
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山
【御鉢 : やや活発な状況 (火山活動度レベル 2)】
御鉢では火口縁を超える噴気が観測され、やや活発な状態が続いています。

新燃岳 【静穏な状況 (火山活動度レベル 1)】
新燃岳では火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島 【比較的静穏な噴火活動 (火山活動度レベル 2)】
8 回の爆発的噴火がありましたが、桜島では比較的静穏な噴火活動です。

薩摩硫黄島 【長期的にやや活発な状況 (火山活動度レベル 2)】
期間中の火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しましたが、長期的にはやや活発な状態が続いています。

口永良部島 【やや活発な状況 (火山活動度レベル 2)】
19 日から火山性地震が増加し、その後もやや多い状態が続くなど、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島 【活発な状況 (火山活動度レベル 3)】
噴火が時々発生するなど、火山活動は活発でした。中旬、下旬は比較的静穏に経過しました。

次回の火山活動解説資料の公表は 9 月 9 日 (金) の予定です。この火山活動解説資料は気象庁 HP (<http://www.jma.go.jp/>) に掲載しています。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 33 号	1 日 11 時 00 分	やや活発な状況（火山活動度レベルは 2）。 最近の火山活動評価、1 週間の火山活動状況（地震・微動、噴煙、赤熱現象等）と現地観測結果（中岳第一火口底の湯だまり量、表面温度、土砂噴出等）。
	火山観測情報第 34 号	8 日 11 時 15 分	
	火山観測情報第 35 号	15 日 11 時 10 分	
	火山観測情報第 36 号	22 日 11 時 00 分	
	火山観測情報第 37 号	29 日 11 時 20 分	
口永良部島	火山観測情報第 20 号	19 日 13 時 20 分	やや活発な状況（火山活動度レベルは 2）。 7 月 19 日から火山性地震が増加。25 日にはさらに増加し、その後も地震のやや多い状態が続く。火山性微動も時々発生。
	火山観測情報第 21 号	22 日 13 時 30 分	
	火山観測情報第 22 号	25 日 19 時 30 分	